

# みずどう

確かな学力、豊かな心、健やかな身体のバランスのとれた子どもの育成をめざす

令和4年3月号  
尼崎市立水堂小学校  
尼崎市立水堂町1丁目32-8  
TEL(06)6437-3804  
<http://www.ama-net.ed.jp/school/E30/index.htm>

## 仏様の指

小嶋 千花

2月の参観も中止となり、大変申し訳ありませんでした。子ども達の頑張る姿がお見せできず、心苦しいばかりです。あっという間の3月。締めくくりの月です。頑張っている姿はお見せすることができませんでしたが、子ども達の成長を実感していただけるようなまとめの月にしたいと思っております。

教育の世界では大変有名な大村はま先生。「教えるということ」という著書を読むと、大村先生の厳しくも子どもに対する深い愛情にふれ、いつも背筋が伸びる思いです。そこに書かれていたお話です。

仏様がある時、道ばたに立っていらっやると、一人の男が荷物をいっぱい積んだ車を引いて通りかかった。そこはたいへんなぬかるみであった。車はそのぬかるみにはまってしまって、男は懸命にひくけれども、車は動こうともしない。男は汗びっしょりになって苦しんでいる。いつまでたっても、どうしても車は抜けない。

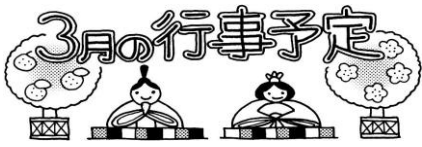
その時、仏様はしばらく男の様子を見ておられたが、ちょっと指でその車にお触れになった。その瞬間、車はすっとぬかるみから抜けて、からからと男は引いて行ってしまった。

大村先生はその話を聞いて「もしその仏様のお力によってその車がひき抜けたことを男が知ったら、男は仏様にひざまずいて感謝したでしょう。けれども、それでは男の一人で生きていく力、生きぬく力は、何分の一かに減っただろうと思いました」と。男は仏様の指の力でぬかるみを抜けたことを永遠に知らず、自分ががんばってぬかるみから抜けたという自信を持って生きていく。

どうしても、教師は教えてしまいます。しかし、そうではなく、知らぬ間に自分の力で身につけたと思えることが、本当の生きる力に繋がる。自分から学んだことは自分の心に残り、財産となる。真の強さがここにあると感じます。

最後になりましたが、子ども達の元気な学校生活を家庭で支えてくださった保護者のみなさま、登下校をはじめ、子ども達の安全を見守ってくださったみなさま、学校の諸活動にご理解とご協力をいただきました関係者のみなさま方に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

令和4年度がステキな1年になることを願いながら、来年度もまた、教職員一同、仏様の指のようなかわりを目指し、子ども達とともに進んでまいります。



日	曜	項	目
1	火		
2	水	6年生を送る会	
3	木		
4	金		
5	土		
6	日		
7	月	朝会	
8	火		
9	水		
10	木		
11	金		
12	土		
13	日		
14	月		
15	火		

16	水	
17	木	給食終了
18	金	卒業証書授与式
19	土	
20	日	
21	月	春 分 の 日
22	火	12:30下校
23	水	
24	木	
25	金	修了式 大掃除 12:00下校
26	土	春季休業日 (~4月6日まで)
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

### 令和4年度 年度初めの予定

- 4月5日 新6年生登校日
- 4月7日 始業式・着任式
- 4月8日 入学式

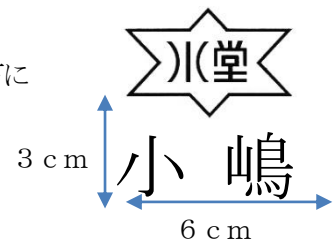


1年間、各委員として育友会活動を支えていただいた保護者の方々には深くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



### ☆体操服のゼッケンについて

新年度（4月）より、体操服のゼッケンを廃止いたします。体操服にある校章の下に苗字のみをマジックで直接記名してください。



### ～職員より～

「6年生のみなさんへ」

3月になり、水堂小学校にいられる時期も後1か月もありませんね。今は卒業式の練習に向けて気合が入っていたりドキドキしていたりと気持ちが高まっているかと思います。

私が小学校を卒業する時は、中学が別々になる友達も多くいたので、とにかくさみしかったことを今でも覚えています。みなさんがこれから行うように、私も卒業式に向けて何度も練習しました。その時はコロナ禍ではなかったため声をしっかり出すよう何度も言われ、歌も何度も練習しました。ただ当時は、卒業式の重要性よりも、私はやはり友達と中学が離れてしまうことが悲しかったです（とても仲の良い友達だったので…）。

ただ、大人になり、卒業式は感謝の気持ちを直接口で伝える大切な意義があるようになるようになりました。私は教師になり、毎年卒業式に出席し6年生の別れの言葉を聞くたびに、感謝の気持ちやお別れの寂しさを感じます。そしてどれも心のこもった言葉だと感動してきました。ということは、あなたたち6年生を担当された先生やずっと支えてくれた保護者の方は、私以上に今までの様々な気持ちが込み上げてくるだろうと思います。

校長先生が、3学期の始業式で皆さんに「ことばに愛を」と指導されていたのを覚えていますか。6年生の皆さんには、卒業式という大舞台上、お世話になった方々へ愛をこめて言葉を伝えてほしいです。そして、最後の小学校での時間を悔いなく過ごしてください。

松本 真子